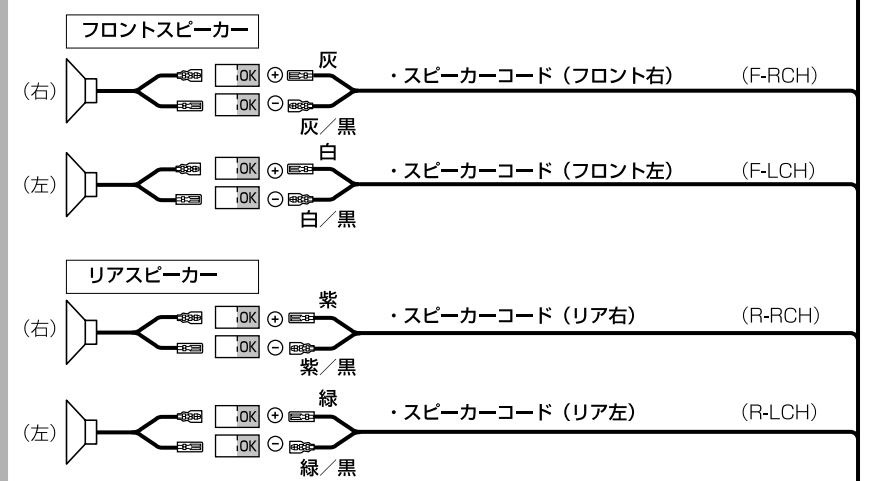


基本接続図 接続する製品の取扱説明書および取り付け説明書も合わせてご覧ください。

X800には電源コードは付属しておりません。
X800付属の電源コードは、「BIG X」(フーエクトフィット)に同梱されている電源ケーブルまたは、別売の下記電源コード (KCE-X08B) をご使用ください。

■ X800・700D (共通) : 別売の電源コード (KCE-X08B) を使用する場合

- ・**パワーアンテナ・ブースターコード**
車のパワーアンテナコードまたはアンテナブースターに接続します。ブースターが付いているものは必ず接続してください。接続を忘れるとラジオの受信状態が機能しなくなります。
- ・**ACC電源コード**
ACCボジションで電源が供給されるコードに接続します。
- ・**バッテリー電源コード**
常に電源が供給される (バッテリー電源プラス) コードに接続します。
- ・**アースコード**
車のボディの金属部分に確実に接続してください。不十分だと騒音や動作性の原因になります。
- ・**リバースコード**
車のバック時に自車位置精度を向上させるために、車のバックランプ信号線のプラス線に接続します。
- ・**リモートオンコード**
パワー・サブワッファー追加の際に使用します。本機の電源ON/OFFとアンプなどの周辺機器のON/OFFを連動させます。



■ パーキングブレーキコードについて

パーキングブレーキの状態を本機に伝えるため、パーキングブレーキスイッチの+側に必ず接続してください。パーキング線が無い車の場合など不明点は、お買い上げ店にお問い合わせください。

パーキングブレーキコードは、必ず接続してください。

車体側のパーキングブレーキ信号線の+側と圧着コネクタを使用して接続します。

パーキングブレーキ信号線 (+側)

パーキングブレーキコード

ペンチ

パーキングブレーキスイッチ

アース側

パーキングブレーキスイッチ

パーキングブレーキ信号線 (+側)

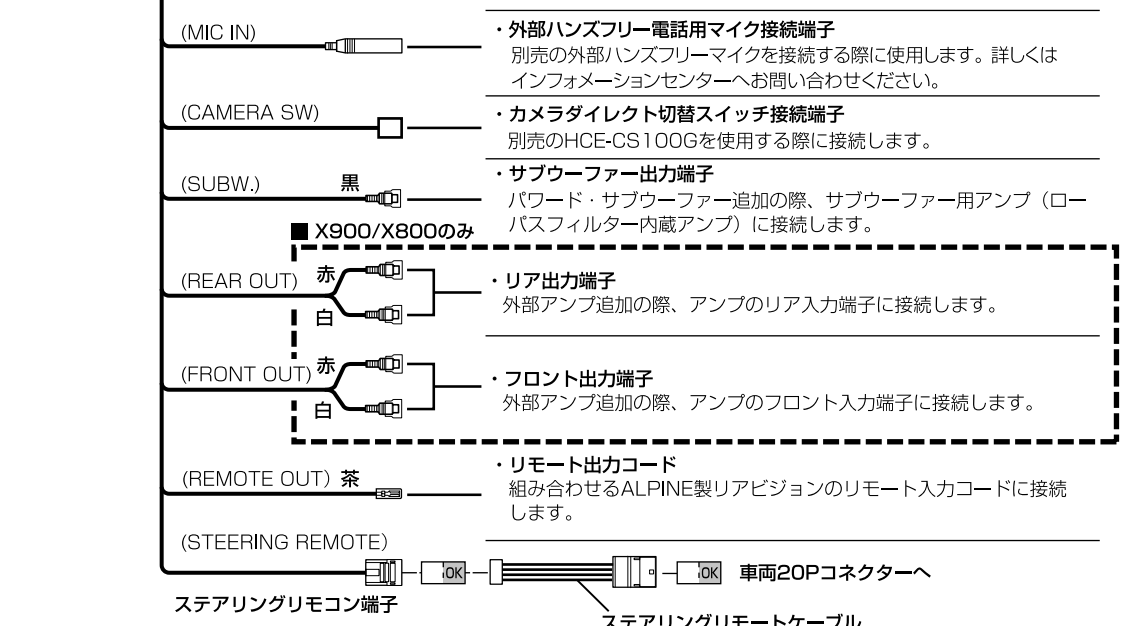
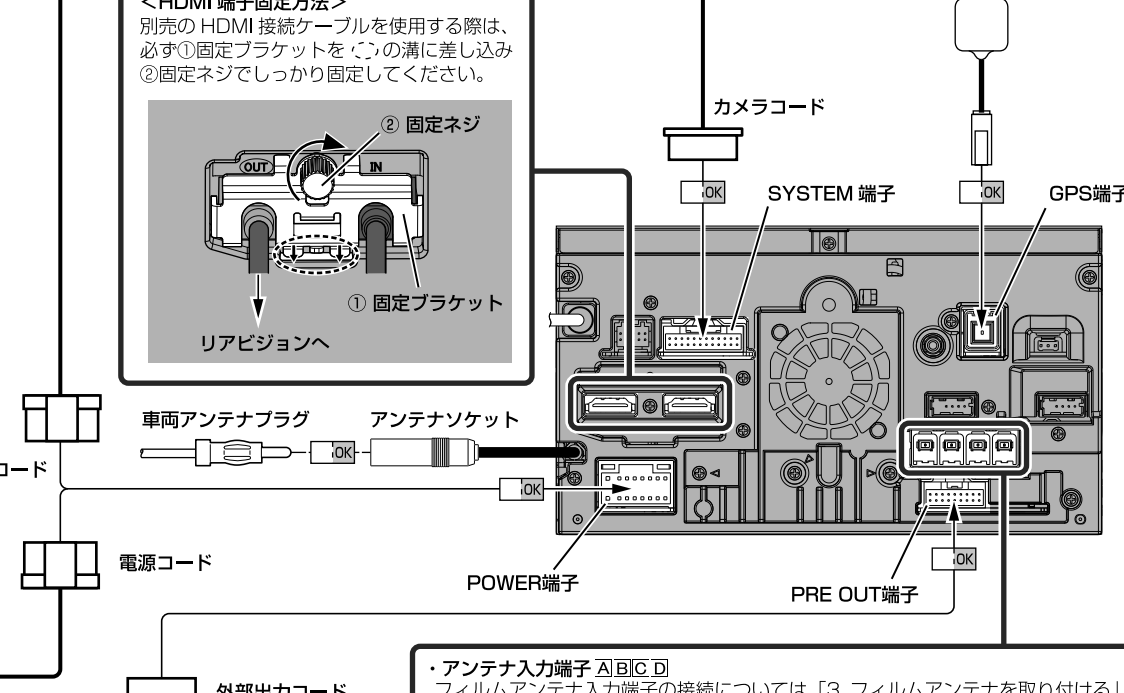
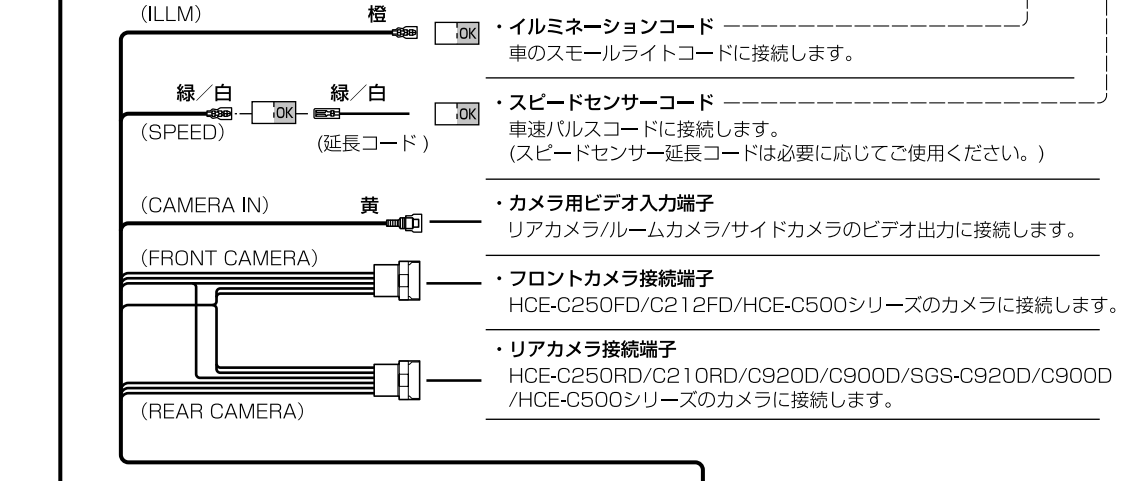
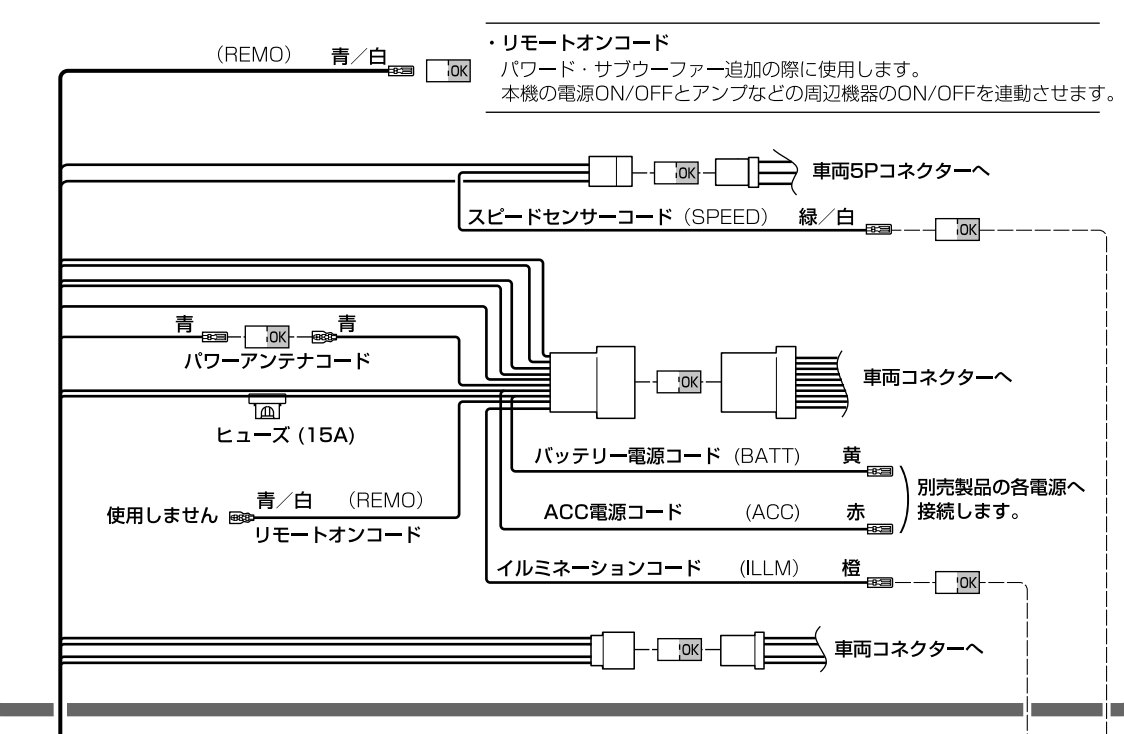
パーキングブレーキ信号線 (+側)

■ コード類について

コード名	補足説明
スピーカーコード	スピーカーを駆動する信号を出力します。接続するスピーカーは、インピーダンスが3Ω〜8Ωのものを使用してください。
リバースコード	接続する車のバック時に自車位置精度を向上します。リバースのバック (P) に接続して、自車位置の検出を促すようになります。リアカメラ接続時は、シフトレバーのバック (R) に接続して、リアカメラの映像を自動で切り替えます。
スピードセンサーコード	車速検出を行うために車速センサーを利用します。車速 (V) スイッチは本機で、ボディによって異なる。間違えた接続は車に重大な影響 (ブレーキが効かなくなるなど) を与えますので、販売店に問い合わせて確実に接続してください。
パーキングブレーキコード	パーキングブレーキの状態を本機に伝えます。
リモートオンコード	本機の電源ON/OFFとアンプなどの周辺機器のON/OFFを連動させます。
パワーアンテナコード	エンジンキーのACC ON/OFFに連動してパワーアンテナを伸縮させる信号を出力します。
ACC電源コード	エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。
バッテリー電源コード	エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。
イルミネーションコード	スモールランプなどのライトに連動して夜間スイッチの制御を行います。

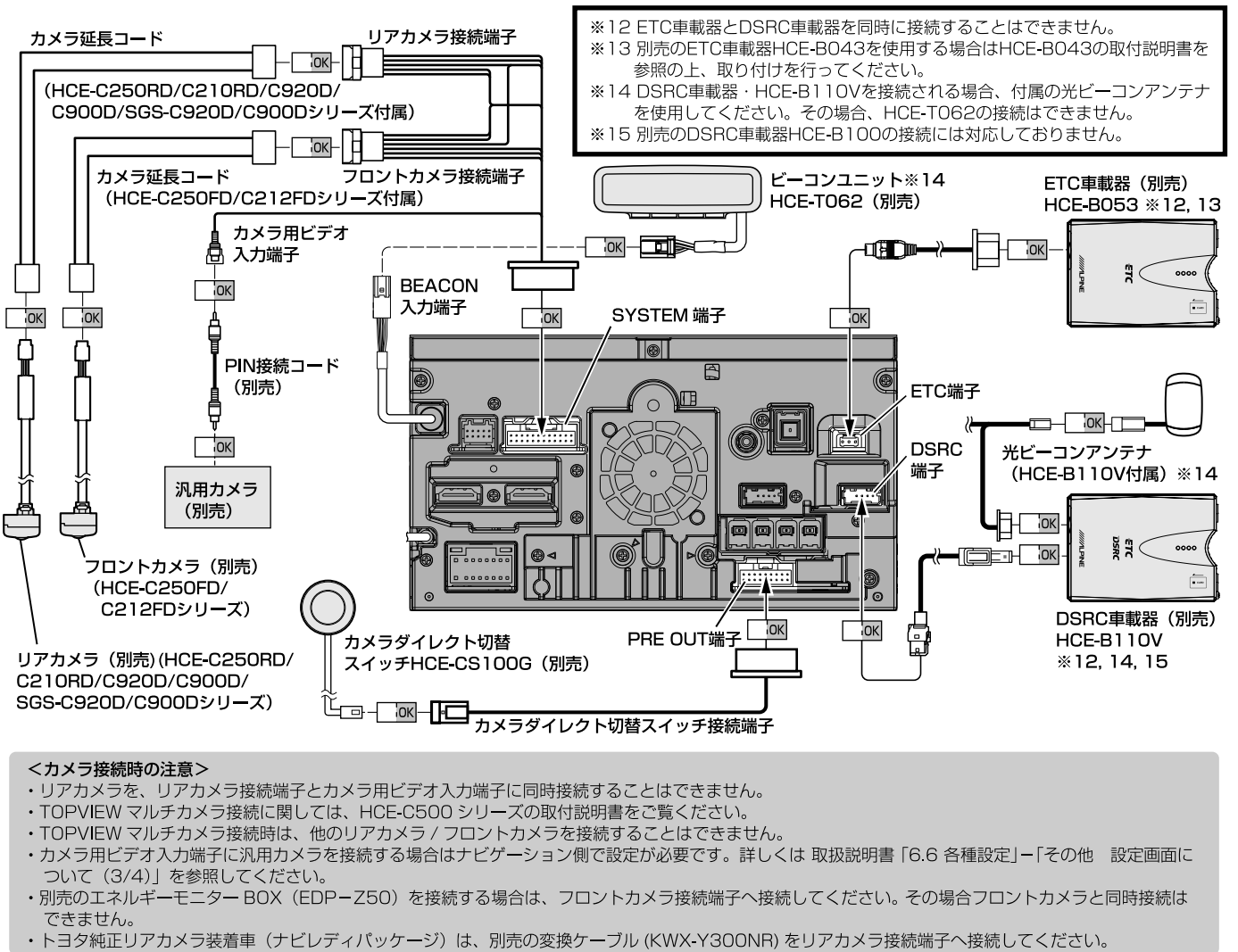
■ X900/700W

・この接続図は X900/700W 付属の電源コード (トヨタ/ダイハツ車用) を使用した場合の接続例です。取り付ける車種によっては、交換ケーブル等が必要になる場合があります。



※1 トヨタ/ダイハツ車以外および X900/700D お買い上げのお客様は、「BIG X 用」(フーエクトフィット)に付属または別売の車速センサーケーブル (X900/700W 共通) をご使用ください。http://www.alpine.co.jp/ ステアリングリモコン適合車種については、アルパインホームページをご覧ください。

カメラ/ETC車載器/DSRC車載器/ビーコンユニットを接続する

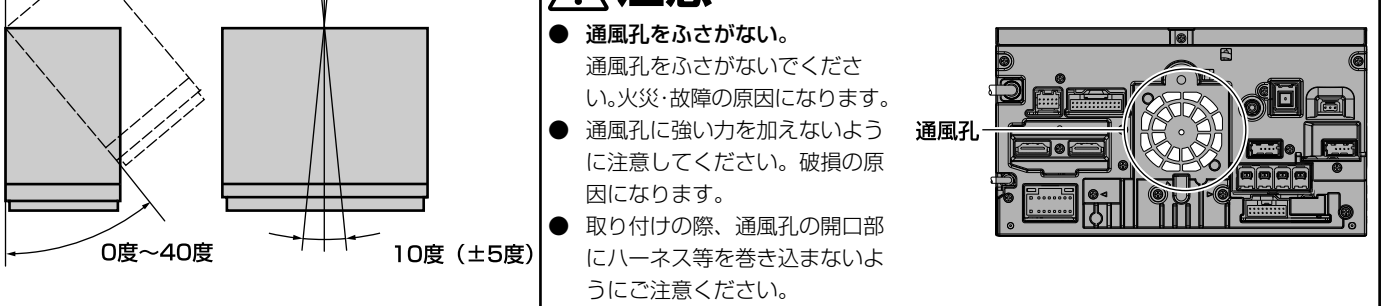


5. ナビゲーション本体を取り付ける

- ナビゲーション本体取り付け時の注意
- 車内の温度が低い (10℃以下) 場合は、本機が正常に動作しない場合があります。常温になつてからお使いください。
- 本機は精密な部品を用いて精密に組み立てられています。性能を維持するために、ナビゲーション本体に無理な力を加えたり、強い振動を与えないでください。

<ナビゲーション本体の取り付け角度>

- 本機取り付け角度は、下記の角度の範囲内で、なるべく水平に取り付けてください。取り付け角度が大きいと現在地を正しく表示できなくなるほか、本機故障の原因となります。



1 ディスクまたはSDメモリーカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

2 ナビゲーション本体にブラケットを付属のバンドネジ (M5×8) でしっかり固定し車両にしっかり取り付ける。

- 本機取り付けの際、必要に応じてスポンジをご使用ください。
- 車両側の取り付けスペースと本機上部の間に隙間ができる場合は、点検料を自費にて、付属のスポンジを取り付けてください。
- X900/X800を取り付ける場合は、「BIG X 用」(フーエクトフィット)の取り付け説明書を参照してください。
- サラネジを使用する場合、必ず付属のサラネジ (M5×8) を使用して取り付けてください。

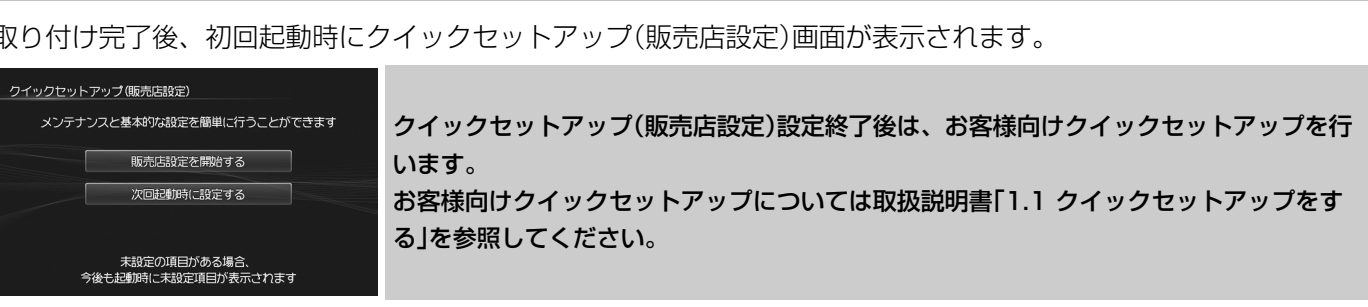
3 パネル (インパネ) を取り付ける。

- 車両雑音から守るために
- アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。(ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる)
- 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- トイズブラッシャーを使う場合はできるだけ本機から離す。

6. 確認する

- 1 コード類を固定する。
シートレール等の可動部にはさみ込む、または突起部に当てる等コードを傷めないように注意して固定してください。
- 2 バッテリーマイナス端子を接続する。
- 3 エンジンキーをONにして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
- 4 ホーン (クラクション)、ストップランプ等の車両電装品が正しく動作することを確認する。

7. クイックセットアップ (販売店設定) を行う



- クイックセットアップ (販売店設定) で設定する項目は次の通りです。
- 【車種専用チューニング】:
お客様の車両に合った音質・画質・カメラガイド・サブワッファー接続・ステアリングリモコン設定を自動的に設定します。
- 【販売店設定】:
取り付けされた販売店の位置情報を登録することができます。
- 【メンテナンス】:
オイル交換時期やタイヤ交換時期・車検時期をお知らせする設定ができます。
- 【カメラダイレクトキー設定】:
別売のカメラダイレクトキー (HCE-CS100G) の接続設定を行います。

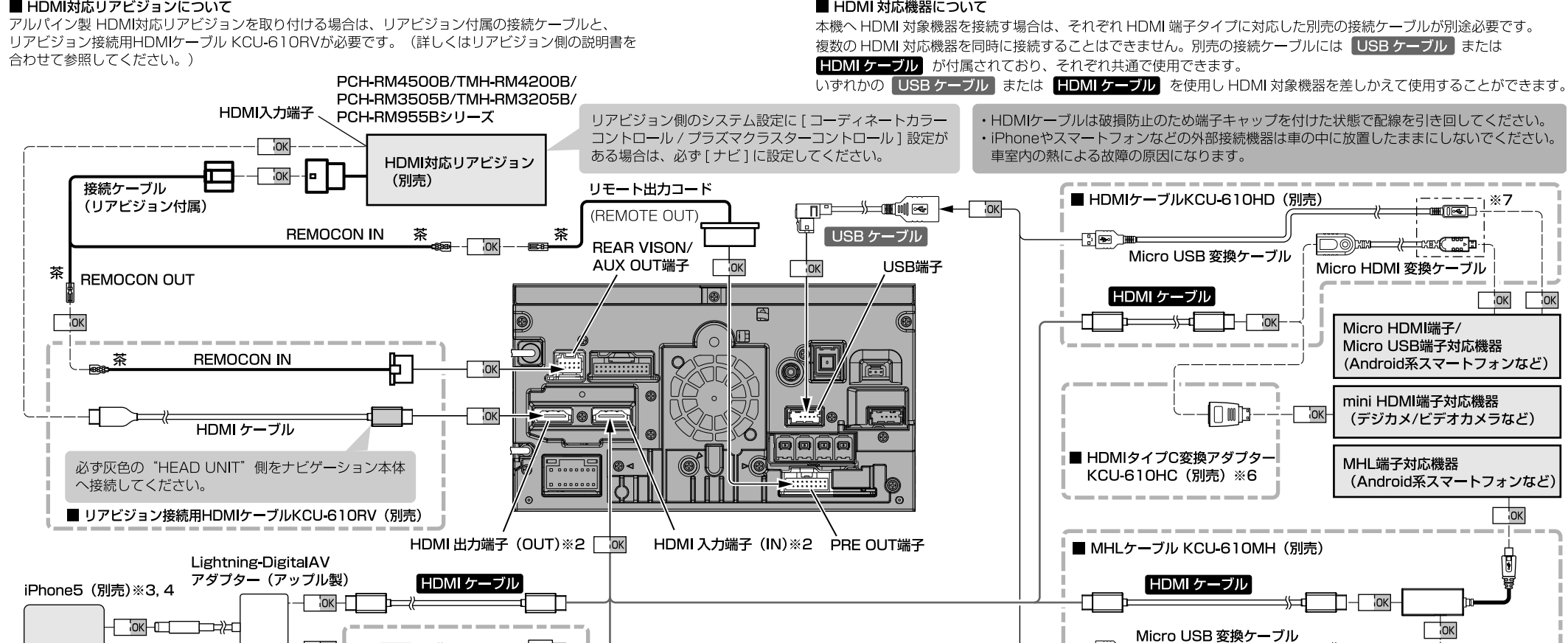
ここでは、販売店向けクイックセットアップの設定方法の流れを説明します。各設定項目およびお客様向けクイックセットアップの詳細な設定方法については、取扱説明書「1.1 初期設定」または「6.10 車種専用チューニング画面」について項目を参照してください。

クイックセットアップを行う事前確認

ナビゲーション対応リビジョンが接続されている場合で、リビジョン側のシステム設定に「コーディネーターコントロール/プラスマスターステアリング」設定がある場合は、本設定を行う前に必ずリビジョン側を「ナビ」に設定してください。

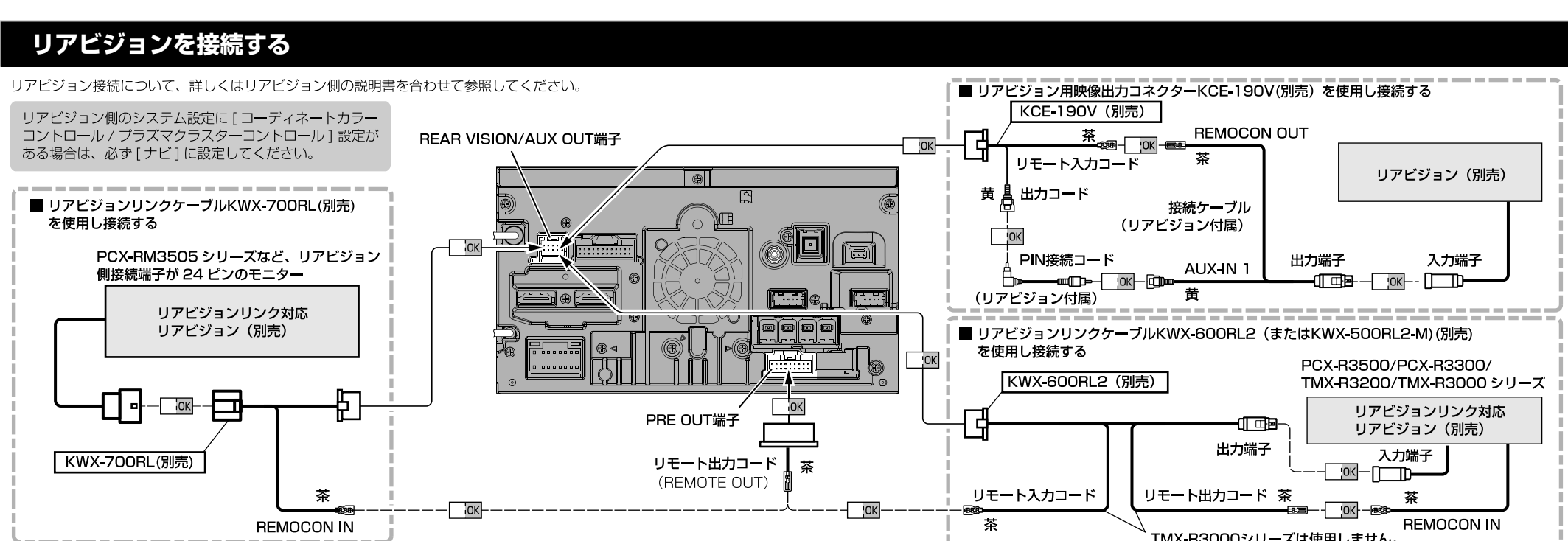
- 1 クイックセットアップ (販売店設定) 画面の「販売店設定を開始する」にタッチする。
車種専用チューニング画面が表示されます。
- 2 車種専用チューニング画面の「設定する」にタッチし、車種/接続機器の各設定を画面の指示に従って設定してください。
- 3 販売店設定画面の「設定する」にタッチし、地図から電話番から住所からのいずれかの方法で販売店登録を行ってください。
- 4 メンテナンス画面の「設定する」にタッチし、オイル交換時期やタイヤ交換時期・車検時期等各項目を設定します。
- 5 カメラダイレクトキー設定画面の「あり または なし」にタッチします。

リビジョンをHDMI接続する/iPhoneまたはスマートフォンなどと接続する

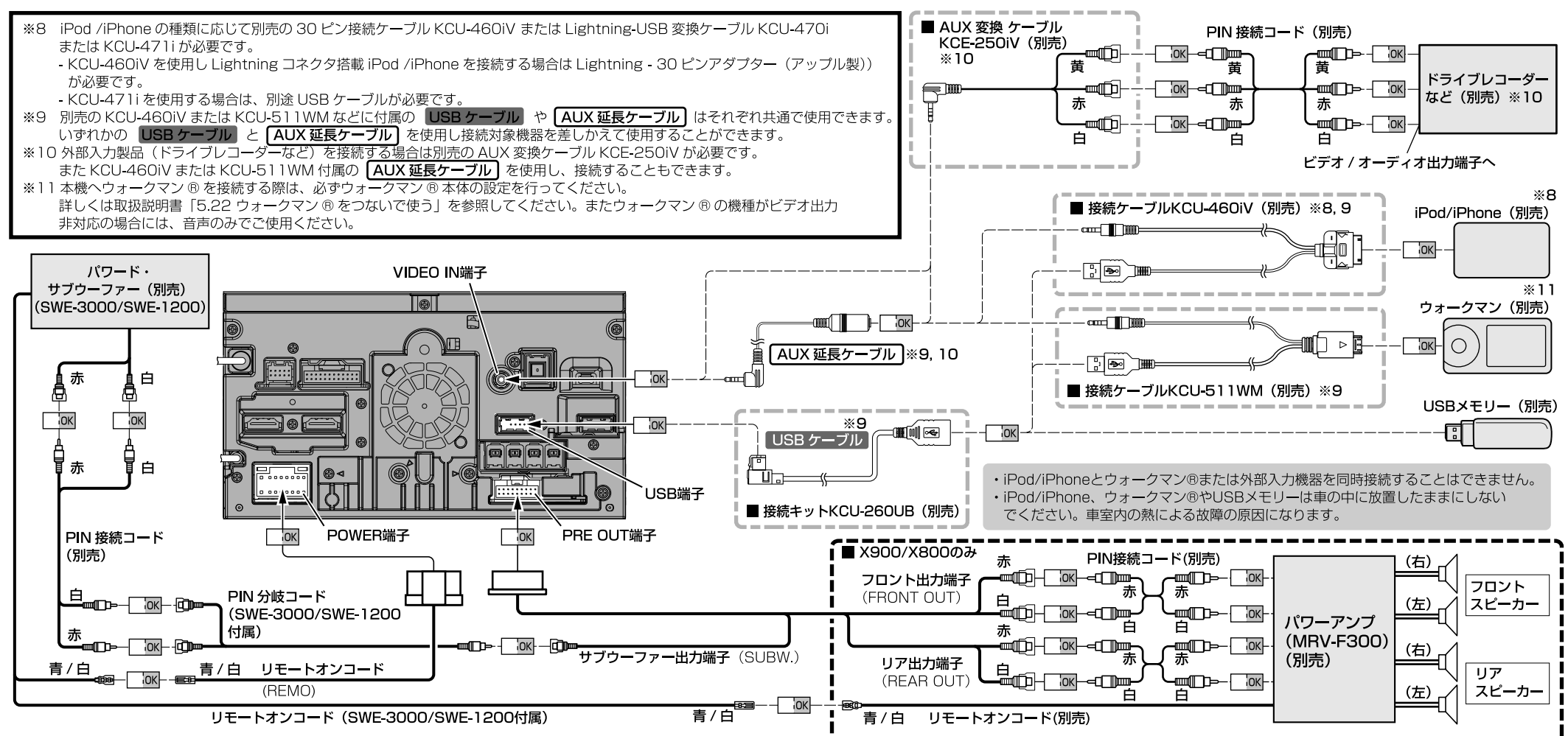


リビジョンを接続する

- リビジョン接続について、詳しくはリビジョン側の説明書を合わせて参照してください。
- リビジョン側のシステム設定に「コーディネーターコントロール/プラスマスターステアリング」設定がある場合は、必ず「ナビ」に設定してください。
- リビジョン接続ケーブル (別売) を使用して接続する場合は、必ず「ナビ」に設定してください。
- リビジョン接続ケーブル (別売) を使用して接続する場合は、必ず「ナビ」に設定してください。



iPod/iPhoneや外部機器を接続する



8. 接続状態を知る

取り付けが終わったら、配線が正しく接続されたか確認をしてください。

本体の電源を入れて、GPSアンテナ、電源コード、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。また、本機の動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

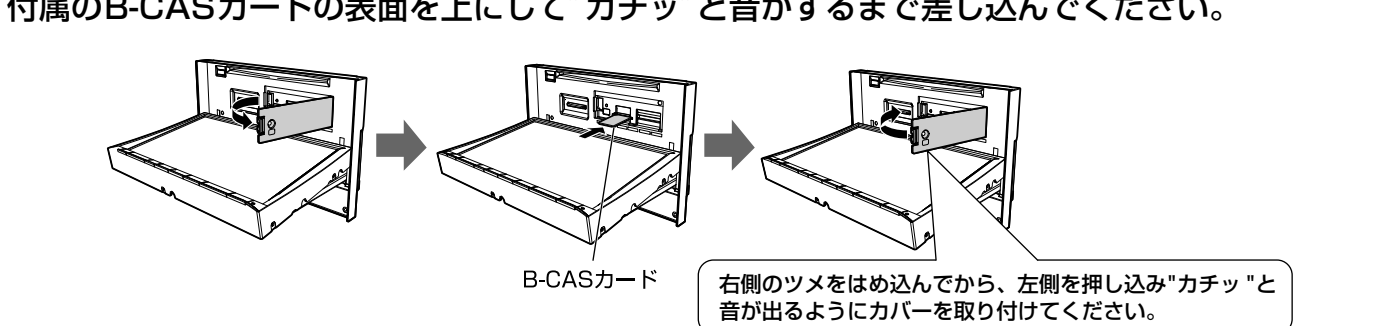
- 1 [メニュー] スイッチを押します。
設定・情報画面が表示されます。
- 2 情報 にタッチします。

9. テレビの初期設定を行う

本機で初めてテレビを見るには、B-CASカードを挿入し受信可能なチャンネルを登録する初期設定が必要です。

<B-CASカードを挿入する>

付属のB-CASカードの表面を上にして「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



- B-CASカード裏面の金色端子部に触れないよう、カードの側面を持ってください。カード端子部に手を触れた場合、手に付着している見えない異物が端子部に付着し、カードの読み取り不良が発生する恐れがあります。
- 手こたえがあるまで確実に挿入してください。
- カバーを開めたあと、本機は自動的に再起動します。
- 通常、B-CASカードを取り出す必要はありません。B-CASカードのテストが終了してもB-CASカード破損の場合以外は取り出さなくても大丈夫です。
- B-CASカードについて詳しくは取扱説明書「5.2 テレビを見る」-「B-CASカードについて」を参照してください。

<チャンネルを登録する>

- 1 [MODE] スイッチを押します。
AVソースメニュー画面が表示されます。
- 2 TV にタッチします。
- 3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、完了 にタッチします。
- 4 お住まいの地域のタブにタッチして切り替え、地域名にタッチし、完了 にタッチします。
- 5 お住まいの地域タブにタッチして切り替え、県域にタッチし、ホームスキャン にタッチします。

ホームモードスキャンが実行されます。

スキャンしたチャンネルはホームモード (お住まいの地域のモード) のプリセット番号に自動的に記憶されます。

- ホームモードスキャンはしばらく時間がかかります。スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。
- テレビの初期設定完了後、B-CASカードが正常に機能しているかテストすることができます。詳しくは取扱説明書「5.6 テレビ設定画面について」-「B-CAS設定」を参照してください。